

モビリティーズ研究会

メンバー: 山本理子(代表, 文M2)、小田英里(副代表, 先D5)、市原遼人(文M2)、井上大夢(文M2)、Hu Jingfeng(文M2)、大宮太陽(文M1)、谷口葉菜(文M1)、柳本知宏(文M1)

研究会の目的

本研究会は、モビリティーズ研究、特にジョン・アーリによる議論に着目し、彼の研究史からモビリティ概念の発展を再検証することを目的としている。観光社会学、人文地理学、文化人類学などを専門としている大学院生を中心に、週に1回、読書会を実施し、各々の研究の深化を図る。

実施内容

読書会にて輪読を実施したアーリの著書とその期間は以下の通り。

「場所を消費する」 4/10～7/25

「社会を越える社会学—移動・環境・シチズンシップ」 8/7～10/9

「グローバルな複雑性」 10/16～12/11

「観光のまなざし」 12/18～2/26

「モビリティーズ—移動の社会学」 3/5～(継続中)



読書会を実施している様子

※フィールドワーク中のメンバーに考慮し、zoomを併用したハイフレックス形式で実施

次年度以降の取り組み

次年度も継続して読書会を実施する計画である。また外部から講師を招き、最先端のモビリティ研究について議論する機会を計画中である。また研究交流の場として、各々の研究内容や論文投稿に意見し合うことも予定している。